

## 第47回九州地区公立学校事務長会研究協議会報告

開催日：令和7年6月5日～6日

開催場所：佐賀県佐賀市天神「グランデはがくれ」

参加人数：8県 147名

### ～研究発表～

宮崎、佐賀の両県から発表が行われました。発表要旨は以下のとおりです。

宮崎県立飯野高等学校 副参事兼事務長 重水 隆英

小さいからこそ光り輝くことができる！～地元自治体との協働における事務長の役割～

#### 2 取組状況 (3) 成果と課題



当校は、過疎化や若年層の減少による生徒数減の中、地元のえびの市より物心両面にわたる多大な支援を受けており、様々な取り組みを行っている。一方、えびの市や地域住民等からの期待も大きく、県と市という異なる自治体間での調整や予算執行等かなりの苦労がある。事務長は行政職としてのマネジメント力を発揮し、協働に向けた制度設計・環境整備、予算執行、学校の運営体制の構築・調整、渉外業務といった様々な業務を行い、「学校」の代弁者として

学校の姿を外部に伝える役割を担っている。また、学校発案の事業を予算化すべく市の関係各課と協議し、予算化につなげるといった取り組みもあった。地域と学校がWIN-WINの関係が続けていけるようマネジメント力・つなぐ力で努力していく。

佐賀県立太良高等学校 事務長 藤家 亜矢子

学び合う学校づくりについて～事務室の職場環境から考える～



事務室内の職員数減少や非正規職員の増加、小中学校や知事部局等との人事異動の流動化が進行し、いわゆる県立学校事務業務のプロパーが育ちにくい中、短期間で職員の専門性を高めていくことが事務長の喫緊の課題である。アンケートを実施し、事務室職員が抱えている思い、事務長や事務主任に期待していることや自身の将来像等の項目への回答から

現状分析を行った。それを踏まえ、人材育成や職務能力の向上を目的に「学びあう事務室」をテーマに、「困ったときは声を出して、わからないときは手を挙げて」全員が教えあう体制づくりや、半期ごとのジョブローテーションの取り組みを実行し一定の成果があった。また、アンケート結果から職場環境の改善には身体的、心理的安全の双方からのアプローチが必要であり、事務長のマネジメント能力が欠かせないことが示された。管理職として、学び合う環境を作っていくことで職場改善につなげたい。

## ～ 研究協議 A『学校における業務の効率化について』～

近年「学校の働き方改革」の重要性が強調され、学校業務を仕分けし効率化することで、長時間労働を減らすことが求められています。また、事務職員には教員が行ってきた業務を担っていく事も望まれています。しかし各学校（現場）では、若手職員の増加や職員削減が進む状況があり、いかに業務効率化を進めるかは事務長の大きな課題になっています。

今回、業務の効率化に関する「各県の取り組み状況」や「各学校（現場）における具体的な業務改善の取り組み」について意見交換をしながら「学校業務の効率化」について下記の視点で考えました。

- 1 各県の取り組み状況
  - (1) 業務の効率化に関する各県の取り組み状況と課題について
  - (2) 教員がこれまで担ってきた業務のうち事務職員へ移管された事例について  
具体例) ①学校徴収金の徴収・管理 ②調査・統計等への回答等  
③学校行事の準備・運営 ④進路指導  
⑤支援が必要な児童生徒・家庭への対応
  - (3) 業務の効率化に関する各県のスタンス（人員削減を求める？教育職員の負担軽減？）
- 2 各学校（現場）での具体的な業務の効率化に関する取り組み
  - (1) 事務室としての取り組み
    - ①事務室の業務の現状と課題
    - ②業務を効率化する際に重要な視点・考え方（業務の仕組化・標準化等）
    - ③業務の効率化に取り組んだ事例（ICT化による業務改善等）
    - ④業務を削減した事例
    - ⑤事務室として業務改善・削減に取り組む際の課題・問題点
    - ⑥業務の移管時に必要な業務量の見える化（業務量の把握）について
  - (2) 学校としての取り組み
    - ①学校業務の現状と課題並びに事務室としての関わり
    - ②業務の効率化に取り組んだ事例（ICT化による業務改善等）
    - ③業務を削減した事例

## ～ 研究協議 B『人材育成と研修について』～

人材育成を考える時、「研修」は有効な手段の一つという考えに立ち協議題を設定しました。任命権者、事務長会といった関係諸団体や職場等が連携して「人材育成」の仕組みを構築し、「人材育成」の実現に結びつけることが必要で、手段となる「研修」のあり方の確立は、人材育成の大きな一歩になり、事務長にとっても人材育成は重要な課題であると捉え、各県の取組を踏まえ、より良い研修のあり方や、人材育成・能力開発について下記の視点で闊達な議論を交わしました。

- 1 人材育成を踏まえた「研修」の現状と課題
  - (1) 各県における事務職員の求められる像について
  - (2) 研修制度の課題について
  - (3) 任命権者、義務制、県立学校の連携について
- 2 「研修」の取組・方策
  - (1) よりよい事務室内における研修とは
  - (2) よりよい任命権者における研修とは
  - (3) よりよい事務長会における研修とは
  - (4) よりよい各種研修諸団体における研修とは

## ～ 成果～

「学校経営における事務長の職務と諸問題の研究協議並びにその実践」という大会テーマのもと、2件の研究発表と研究協議A・Bを行いました。それぞれに質疑や各種意見が出て活気のある発表・協議となり、業務の効率化や人材育成を含む事務室運営や事務長の役割等への意識の向上につながりました。